



さらなる飛躍の年へ

新年あけましておめでとうございます。令和元年5月に新天皇が即位し、「令和」の時代がスタートして初めての年明けを、皆さんはどのように過ごされたでしょうか。

昨年は45年ぶりに茨城県で国体が開催され、全国から多くの方が本村を訪れました。ホッケー競技の期間中は、5日間で約1万5000人の方が来場され、ボランティアや関係者の皆さんの協力のもと、村はこれまでになく盛り上がりを見せました。滞りなくホッケー競技を終えることができたのも、ひとえに村民の皆さんの力添えがあったからこそと思っております。国体を通し、改めて村民の皆さんの素晴らしい力を感じることができました。

また一方で消費税の増税や、保育料の無償化など、社会環境についても目まぐるしく変化のときを迎えています。村民のニーズも多様化する



村長の今年の一字

「結」

「結果にコミットする」(うん？何のフレーズ?)、「必ずやり遂げる」という覚悟をもって頑張ります。また、「ゆい」の精神で人と人を強い絆で結んでいきたいという思いを込め、「結」の一字を選びました。皆さんは今年一年を、どんな年にしたいですか。

中、村政運営には多くの課題への対応が求められています。

令和2年度に向けての施策は現在取りまとめているところですが、私が考えている視点を次ページで紹介しています。新たにSDGsの理念を取り入れて「持続可能なまちづくり」の実現を目指してまいります。

また、昨年は台風19号が多くの地域で甚大な被害をもたらしました。本村では大きな被害はなかったものの、近隣の自治体では今もなお、災害復興に追われているところもあります。防災対策には万全を期してまいります。防災対策には万全を期してまいります。防災対策には万全を期してまいります。防災対策には万全を期してまいります。防災対策には万全を期してまいります。

東海村村長 山田修

新保育所が続々開所

待

役場庁舎の敷地内に、定員93人(0～2歳児／各12人、3～5歳児／各19人)の公立保育所が5月に開所。4月には、駅西に定員19人の私立小規模保育施設が開所する。働く子育て世代をバックアップする。



(公立保育所イメージ図)

早期児童の解消へ

「東海村第6次総合計画」がスタート

新

少子・高齢化が進む中、これからの社会におのずと求められるものは“人(ヒト)”である。「誰一人取り残さない」ことを誓うSDGs(持続可能な開発目標)の理念を取り入れ、次の世代を担う「人づくり」に力を入れて取り組む。



新たなまちづくりへ

道路環境の整備を加速

さ

フローレスタ須和間内の村道が3月に開通予定。そのほか、勝木田下の内線(神楽沢橋)の開通(令和3年3月完成予定)や、国道245号の4車線化(令和2年度完成予定)、国道6号の4車線化に向けた事業がスタート。



利便性の向上を

「(仮称)歴史と未来の交流館」の竣工

来

令和元年7月から始まった建設工事が年内に終了予定。並行して、展示制作などソフト面での作業を進め、令和3年7月の開館に備える。幅広い世代が交流し、郷土愛を育み、にぎわいをつくる生涯学習の拠点を目指し、整備を進めていく。



年7月の開館に向けて

にぎわいをみせる常陸那珂港区

大

大型外国客船ウエステルダムが4月に寄港予定。また、建設工事を終えた新たな火力発電所の試運転が開始され、インフラ整備が着実に進む。村の魅力づくりから、来村・定住へとつなげるための茨城港常陸那珂港区の有意性は大きい。



大型客船の寄港とエネルギーの供給拠点

原子力政策の取り組み

着

今年も広域避難訓練の実施を検討し、広域避難計画(案)の検証と実効性の向上を図る。また、住民の意向を把握する手段として原発問題を“自分ごと”として考え、議論できるような仕組みを検討する。



実な原子力防災を